

沖縄県知事行政視察

玉城デニー沖縄県知事、就任後初訪問！



沖縄県知事行政視察

玉城デニー沖縄県知事が5月24日、25日の日程で行政視察のため久米島町を訪れました。24日午前より那覇市泊ふ頭からフェリー琉球に乗り、渡名喜村経由で久米島町兼城港に到着し、大田町長らが迎えました。

意見交換会

大田町長をはじめ、議長、教育長、久米島商工会、久米島町観光協会、久米島組、久米島漁協組合、JA久米島支店、各課課長、町議員等も参加し、意見交換会を行いました。

大田町長は①海洋深層水取水設備の増強ならびに研究体制の強化、②航空運賃の低減、③航空燃料給油施設の整備、④兼城港拡張整備、⑤プレジャーボートを活用した観光振興、地域活性化を図るためのマリーナ整備、⑥出産ならびに難病患者が長く滞在可能な宿泊施設の整備、⑦高速船導入の7件を要望しました。

これを受けた知事は、事業の必要性・目的・財政・ニーズ等を踏まえ、課題を整理し、引き続き意見交換を重ねて検討してまいりますと述べました。

講演（球美中学校）

意見交換会后、知事は球美中学校を訪れ、久米島西中学校、球美中学校の児童生徒に講演を行いました。

沖縄県の離島振興施策をテーマに島の将来のために何ができるか、夢を持つこと、また叶うと信じていくことが大事だと児童生徒に呼びかけていました。知事の講演を聴いて、新垣海矢君は「自分の夢を探しに一度島を出るが、また久米島に戻ってきたい」と話しました。最後に生徒達の質問に答え、講演終了後は拍手喝采で児童生徒と握手をしながら球美中学校を後にしました。

行政視察

その後は、大田町長の案内のもと、意見交換会にもありましたが、海洋深層水関連施設5か所、カンジダムの視察を行いました。

25日午前には兼城港、久米島高校離島留学学生寮（じんぶん館）、福祉施設（家福みー家）を訪れ、町民と交流しました。じんぶん館では決断力の身につけ方や基地問題等の質問に対し知事は生徒達にアドバイスを行っていました。家福みー家では、施設利用者のみなさんと一緒に「ちゃーがんにゅう体操」や歌を歌ったり等、交流をしました。

